

Creator's NEWS

＝ みんなでつくる。創造、モノづくり。＝

Summer

Vol.
50

2024/Aug.
Free
Magazine



「うーん、難しい」と唸りながら試行錯誤中。あーでもないこーでもない竹ペラで粘土をペタペタならす利用者さん。

ていない、猛禽類の翼を広げた埴輪なども写真つきで解説していただき、大変勉強になりました。紹介や説明が終わると、準備された粘土と竹ペラ等の道具を使い念願のはにわづくりをスタート！

「はにわ(埴輪)」は粘土を焼いて作られた土製品で、古墳の上に並べられ、大きく分けて、円い筒のような形をした「円筒はにわ」と、人間・動物・家さまざまな道具などの形をした「形象はにわ」の2つに分かれるそうです。「埴輪」の語源としては、「埴輪」の「埴」は、赤や黄色の粘土のこと。「輪」(わ)は粘土を輪のように伸ばし積み重ねてつくったから「埴輪」と呼ばれているとのこと。紀伊風土記の丘でしか出土していない、猛禽類の翼を広げた埴輪なども写真つきで解説していただき、大変勉強になりました。紹介や説明が終わると、準備された粘土と竹ペラ等の道具を使い念願のはにわづくりをスタート！

8月12日、クリエイターズに紀伊風土記の丘から、県主催の『出張まなび講座』として、はにわ作りの講師の方が来られ、「ハニワづくり体験」のレクリエーションを開催しました。前半は、「はにわ(埴輪)」とは何か、何の為に作られたのか、どんな種類の埴輪が出土しているのか、などたくさんの解説をしていただきました。



はにわづくりは最初皆で何を作ろうかワイワイ話しながら粘土をこねて伸ばしていましたが、(粘土を紐にするのが中々難しかったです。)そのうち黙々と一緒に懸命に作っていました。思い描いた造形にするのが難しく、時間が経つと粘土の表面が乾いてくるので水で濡らしながら形を作っていく、細い竹筒で目を開けたり、竹串で模様をつけたり、残った粘土で耳や腕を作って付けたりし、みんな全て違う個性的で面白いのはにわができあがりました！出来上がったのはにわはのちに紀伊風土記の丘の焼き釜で焼いてもらい、戻ってくる予定です。頑張って作ったはにわが焼き上がってどんな風に完成して戻ってくるのか待ち遠しいです。